

# 表土を掘りはじめました

小牧山城

は  
つ  
つ  
か  
わ  
ら  
版

9月に入っても、小牧山ではツクツクボウシの蝉時雨がにぎやかです。発掘調査現場では、調査区内の地表の土（表土）を取り除く作業を進めています。

調査前には草や枯葉に覆われていた地面ですが、作業を進めるにしたがって、表土の下から長い歳月で積もった土（堆積土）が顔をのぞかせます。時には、「これはもともと

は石垣に使われた石が落ちて積もったのかな…」と思わせるような石の堆積が見つかることもあります。

これらの堆積土や石を慎重に取り除くと、その下には戦国時代の小牧山城の地面（遺構面）が残っているはず…。調査員と作業員は神経を張り詰めて連日作業にあたっています。今年は何が出てくるのか、はたまた何も見つからないのか、今後の調査の行方にご注目ください。

令和3年度 第2号

発行日：20210917

発行：小牧市教育委員会  
小牧山課

問合せ先：0568-76-1623

着  
手  
前  
の  
様  
子



表  
土  
掘  
削  
の  
様  
子



## 発掘ひとくちメモ

### ～ 「小牧山の生物多様性」 ～

小牧山の地表の土は、葉や草などの植物に由来する腐葉土が堆積したものです。土中の環境が良好なせいか、土の中からはトカゲ、セミの幼虫、ムカデなど様々な生物が見つかります。見つかった生き物たちは、近くの同じような環境の土の中に戻してやっています。歴史的な場所として見られがちな小牧山ですが、その豊富な自然も大きな魅力です。調査や今後の整備でもこうした多様性を尊重し、活かしていくことも大切な取り組みです。

調査、整備工事中はご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願い致します。 小牧市教育委員会